

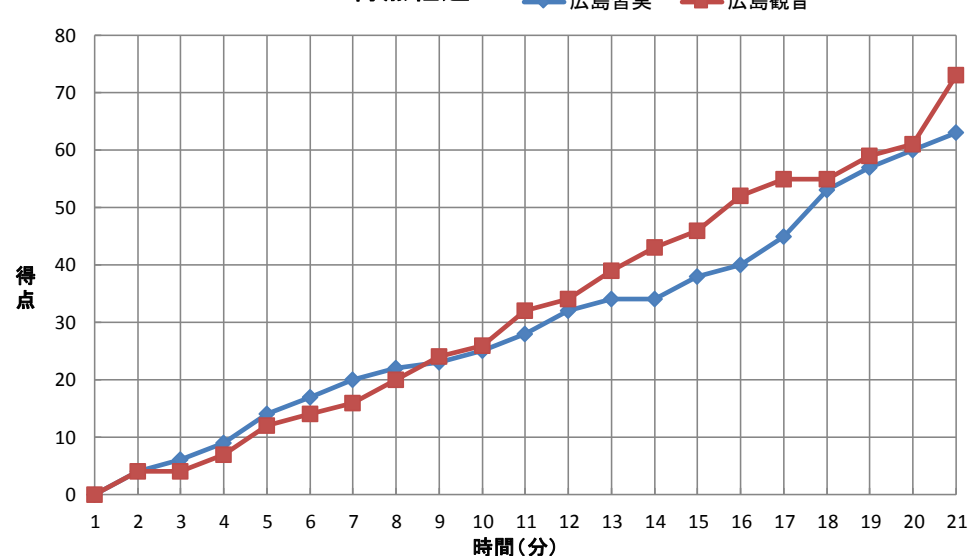


第72回広島県高等学校総合体育大会 バasketボールの部
Basketボールの部

個人トータル表

女子		令和1年6月9日		11:00 開始															
決勝		呉市体育館		M															
広島皆実 63		<table border="1"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>11</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>12</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>21</td></tr> </table>		17	1st	14	11	2nd	18	12	3rd	20	23	4th	21	73		◎ 広島観音	
17	1st	14																	
11	2nd	18																	
12	3rd	20																	
23	4th	21																	
(広島県)				(広島県)															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
* 4	澤崎唯奈	3	1	0	0	3	* 4	小田菜月	14	0	5	4	4						
* 5	得田歩菜	16	0	6	4	2	5	折手望夢	-	-	-	-	-						
6	福増理沙	0	0	0	0	1	* 6	平朝香	16	0	7	2	3						
* 7	永井憂	2	0	0	2	5	* 7	前垣伶奈	2	0	1	0	3						
8	羽原希美	-	-	-	-	-	8	高下桃香	-	-	-	-	-						
* 9	丸山愛友	4	0	2	0	3	9	市山桃香	-	-	-	-	-						
* 10	廣田萌々	21	0	8	5	4	10	大見あすみ	0	0	0	0	3						
11	村井陽	2	0	0	2	2	11	溝口りの佳	13	0	5	3	2						
12	田村美紀	0	0	0	0	0	12	山崎いづみ	-	-	-	-	-						
13	小西里奈	10	1	3	1	3	13	萩原芽生	9	1	3	0	2						
14	大塚夏奈	2	0	0	2	0	* 14	高嶋萌衣	5	1	1	0	1						
15	中水唯歌	-	-	-	-	-	15	佐々木玲弥	-	-	-	-	-						
16	小林愛奈	3	0	0	3	2	16	山本莉香	-	-	-	-	-						
17	濱田月那	-	-	-	-	-	17	森田彩羅	-	-	-	-	-						
18	山本真帆	-	-	-	-	-	* 18	木村生吹	14	0	5	4	3						
コーチ	村井幸太郎					0	コーチ	小松広道					0						
Aコーチ	平田みな美						Aコーチ	田中満子											
合計		63	2	19	16	23	合計		73	2	22	9	18						
主審: 橋本恵一																			
副審: 市川雄介																			
副審: 森原隆																			

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	30:08	39:07	39:33	:	:	:	:
TeamB	17:30	:	32:47	39:50	:	:	:	:	:

〔戦評〕

スタートは、広島皆実#4、5、7、9、10、広島観音#4、6、7、14、18
 第1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでゲーム開始。広島皆実#5が1対1からのジャンプシュートを決め、先制する。対する広島観音も#6がスティールやドライブイン、バスケットカウントにより得点する。その後は、激しいディフェンスによりお互いがなかなか得点できない展開が続く。終盤、チームファウルにより得たフリースローを確実に決めた広島皆実が、17-14とリードして1Q終了。
 第2Q、広島観音が全員でリバウンドを徹底し、速い攻めにつなげ、粘りを見せる。#4のミドルシュート、#6のドライブインにより得点し、徐々に点差を縮めていく。広島皆実も広島観音の激しいディフェンスの前に得点できない時間帯が続く。中盤以降、第1Qとは対照的に、チームファウルもかさみ、苦しい展開を強いられる。広島観音はディフェンスのズレを見逃さず、果敢にドライブインを仕掛け、ファウルを誘う。残り3分、広島観音#4の気迫溢れるドライブインによりついに逆転。対する広島皆実も#4が3Pを決め返し、一歩も譲らない。その後も、展開は変わらず、28-32、広島観音リードで2Q終了。
 第3Q、前半と変わらず両チームとも激しいマンツーマンディフェンスを展開する。広島皆実も、#5のバスケットカウントを皮切りに、オンボールスクリーンを基点とした#10の強いポストプレー等で得点し、意地を見せる。しかし、広島観音の勢いは止まらず、#13が3Pやレイアップシュートにより流れを確実に引き寄せ、たたみ掛ける。40-52、広島観音はリードを12点に広げ3Q終了。
 第4Q、後がない広島皆実も開始直後#13が3Pを決め、点差を一桁に戻す。残り7分、広島皆実#10が気迫のこもったオフェンスリバウンドからバスケットカウントを沈め、たまたま広島観音はタイムアウトを請求。しかし、流れを切ることはできず、広島皆実#10の連続得点により、残り5分、ゲームはついに振り出しに戻る。終盤、広島皆実もハーフコートで3-2ゾーンディフェンスを展開し、リバウンドから速攻へつなげ逆転に成功するが、広島観音は全員で力を振り絞り、オフェンススピードを上げ、最後までゴールへ攻め続け、それを退ける。最終的には、63-73のスコアで広島観音が勝利した。
 両チームとも最後まで一歩も譲らず走り続け、広島県総合体育大会Basketボールの部女子決勝として相応しいゲームを展開した。

戦評: 西尾友貴

記録: